

Pichari ~ピチャリ~

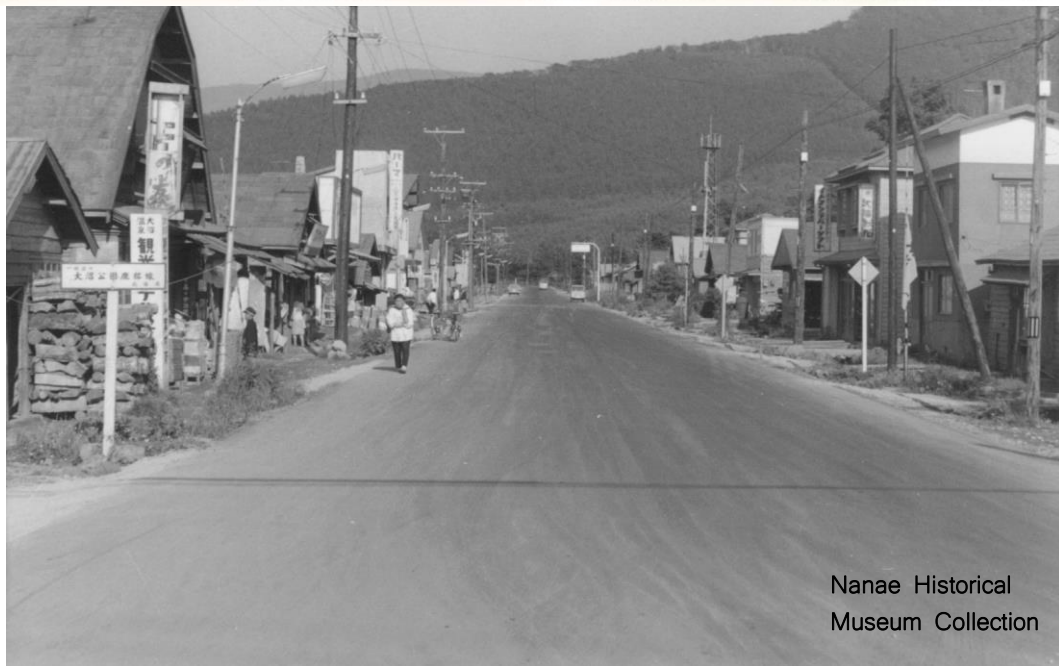
七飯町歴史館だより

第192号

ななえ古写真物語 VOL.192

街の記憶

大沼公園鹿部線
昭和45年ごろか？
大沼地区



Nanae Historical
Museum Collection

のどかな田舎道。遠くに車の姿は見られるが、車道には中央線は見られず、歩道との境目もはっきりと分けされていない。また、横断歩道らしきものすらない。ただ、沿道に軒を連ねる商店や住宅、連立する電信柱の存在から、この道が地域のメインストリートであることを想像させる。

場所は、現在の大沼駅前から鹿部町へ向かう「大沼公園鹿部線」を鹿部方向へ向かって写した一コマである。この道が路線認定となったのは、昭和32年のようだが、昭和21年に内務省地理調査所で発行した地図「大沼公園」には、すでに、この路線が描かれているし、「七飯町史」の表紙裏の挿図として使われている「大沼明細図（明治36年、宮沢鉄蔵著作発行）」では、駅前の市街地が碁盤目で描かれ、今まさに街が作られる前という表現であることから、おそらくは明治36年に敷設された函樽鉄道の影響により、道路の基点が設けられ、鹿部方面への利便を図るために、道路が開削されたのだと想像する。

それを裏付けるかのように、明治29年に同調査所で発行した地図には、いわゆる「大沼公園鹿部線」は描かれていない。そこから推測するに、道路の始まりは明治36年頃であると考えられる。以降、昭和を迎えてなお主要な道として利用され、町が作られてきたのだろう。

さて、改めて写真を眺めてみよう。左手前に「大沼公園鹿部線」と書かれた横看板がみられ、その背後には燃料用だろうか、薪（丸太？）が積み上げられている。さらにその後ろには、「大沼温泉 観光デパート？」という立て看板がある。「大沼小史」によるとデパートの開業は昭和43年であることから、この写真が撮影された年代は、昭和45年頃かと推測している。

さらに、左側に連なる建物には軒看板を掲げていたり、「パーマ」と書かれた袖看板が見られるので、昭和40年代の住宅地図を調べてみたら、この沿線には、寿司屋や商店、金物屋、美容室があったことがわかった。写真にも、学生帽をかぶった青年や店の軒先に立つ人々、荷物を背負って歩く人、自転車に乗ろうとしている人がみられるが、彼らは基本的に移動は人力であり、通りの賑わいから、人々の暮らしが垣間見れるほどだ。仮に、現在同じ場所を眺めたとしたら、この写真ほど人の賑わいを感じることはないだろう。人の移動は車がメイン、商店の数も減っている。そのように社会が変貌してしまったのだと思い知らされ、寂しくもある。

街の記憶を記録した写真から、読み取れる情報は多いのだが、古い時代の方が、景色に人情のようなものを感じてしまう。完全に私の主観によるものなのだろうが、何故だろう？

バードフィーダーとバードケーキ

例年歴史館では、来館したお客様がロビーから野鳥を観察できるように、バードフィーダーを置いています。目に黒い線が特徴なゴジュウカラ、黒いネクタイ模様のシジュウカラ、赤茶色のお腹が特徴のヤマガラなど、小さきものたちのかわいい囀りを聞いたり、啄む様子を近くで見ることができます。バードケーキは、松ぼっくりの笠の間にクッキー生地のようなものを詰めたものをつるしています。ゴジュウカラは、樹幹を下向きに降りることができるので、その様子を観察するのも面白いです。



25日 ジュニア探検クラブ

今月は町内の文化財めぐりを行いました。「文化財ってなにかわかる？」から始まり、町にとって後世に残しておきたい場所やモノ、樹木などを子どもたちに伝えました。自分たちが住んでいる町にどんな誇れる場所があるか、私たちも再認識することができました。「庚申というものが知らなかった」「神社の狛犬がかわいい」「トチノキの太さにびっくりした」など子どもたちの新鮮な感想を教えてくださいました。



開催中の企画展示から。

実施中の「食べたい！食べたことある！」の袋麺の投票に多くの方が参加して下さっています。普段なら食べたあとの袋は、おそらくすぐに捨てられる運命にあると思うのですが、壁に並べられた袋の数々にお店とは、また違う感覚で見ることができるのではないのでしょうか。今のところ「食べたい！」の1位は「子供がまだ食ってる途中でしょうがラーメン」。「食べたことある！」はマルちゃん焼きそば（3食入り）。引き続きのご参加をお願いします。



1月の予定

1	月	年末年始休館日（1/3まで）
2	火	
3	水	
4	木	企画展「つつむ」開催中
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	夜の博物館後期講座 第2夜
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	ピチャリ第193号発行
21	日	企画展最終日
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	ジュニア探検クラブ
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

※12月29日～3日まで休館いたします

葉の贈り物

落ち葉を拾う。挟む。詰める。いろんな形。いろんな色。自然の美しさを再確認。



編集後記 ~tawagoto~

雨垂れ石を穿つ。この言葉結構好きです。今年も自分に課した目標は、年100冊の読破。結果は140冊を超え、目標は達成です。他者の記したものを読み、新たな世界へと導く。読書って改めて、素晴らしいと感じます。でも、頭で考えるだけでは、思考の幅はなかなか広がらないし、身体や感性のレベルでの体験も、必要だと思えます。今年は歴史館でも様々なことがありました。ひとつひとつ丁寧に、確実に。皆さんにとって良き一年になりますように。

ピチャリ ~ピチャリ~

第192号

令和5年12月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp